

白山山麓 ハライ谷

酒井 正裕 記

白山山麓の一里野温泉スキー場の東には、石川県ではもっともポピュラーな山スキールートであるハライ谷があります。このルートは、正確に言えばハライ谷を取り巻く尾根を一里野温泉スキー場のゴンドラリフトを利用して一周するものです。本山行の実施時は、途中で天候が悪化したため変則的なルートを採用しましたが、結構快適でした。滑降高度差は、しかり場分岐からだと1000mに達し、通常のルートも含め、地元においては一度は滑ってみる価値はあると思います。

《行動概略》

一里野温泉スキー場から檜倉を経てしかり場分岐手前、檜倉からオメナシ

一里野温泉スキー場のゴンドラリフト終点から、シールを付け歩き始める。尾根は、小さなアップダウンを交えながら余々に高度を上げている。標高1100m付近で林道が尾根を越えて、行手前方左の送水管の上部辺りへ延びている。

更に忠実に尾根を登ると、針葉樹林のある檜倉に着く。この辺りは、特に尾根が広く、また尾根を右寄りにルートを採りつつ一旦少し下るため、視界不良時は迷いやすいところだ。

相変わらず広い尾根が続くが、特に標高1250mから上部は一段と広がる。

この山行では、天候が悪くなったため、しかり場分岐手前で山行を打ち切った。

檜倉手前のコルまでは、予想通り快適な滑りが楽しめた。檜倉手前の平坦なピークからは、登りに観察しておいたオメナシに向かってルートを採る。

この滑り出しは、この平坦なピークの鞍部であり、小さな谷に滑り込むと直ぐに林道に出る。一里野温泉スキー場から続くものであるが、林道をたどらず、そのまま杉林の浅い谷を滑る。少し滑ると、一角だけ樹木がなく平坦な場所に出る。ここから、ほぼトラバース気味に右へ進路を採り、雪崩に注意して送水管の上部に出る。

送水管上部からは、直接谷に向けて滑る。取り立てて大きな斜面ではないが、このルートでは最も快適な斜面である。

オメナシに降りたら、雪崩の危険が高いので、できる限り迅速に滑り降りる。標高750m辺りで堰堤が出るので、それを右岸から越すまでは要注意である。

堰堤からは、そのまま暫く右岸を滑り、地図に記載された林道に出てた後、鬱蒼とした林の中を滑りスキー場に向かった。

【メンバー】 酒井 正裕

【コースタイム等】

平成11年3月7日(日)曇りのち雨

一里野温泉スキー場上(8:40)しかり場分岐手前(標高1450m)

(10:20)堰堤(11:20/11:40)一里野温泉スキー場(11:50)

【1/25000地図】 市原、白峰

ルート図 白山山麓 ハライ谷

